

病院における分類不能を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
2	10~11	2階浴室に於いて、入浴のため車椅子から入浴用車椅子へ入院患者を移動する業務に従事していた。その際、中腰の体勢にて当該患者の前面より脇の下へ腕を通して持ち上げたところ腰部に鈍い痛みが生じ、腰部を負傷した。	31	100 ～ 299
2	10~11	当院にて介護業務を主として従事しており、患者のオムツ交換のため体位変換をした際に左手に激痛が生じたものである。	27	100 ～ 299
7	19~20	精神科急性期治療病棟において、患者が不穏行動をとったため、保護室に誘導しようとしたが、スタッフの手に噛みつこうとするなどの抵抗があった。そこで5名体制で対応したが、それでもスタッフの手を振りほどいて男性スタッフの右眉部に噛みついた。その際、患者が手を振り上げたため、避けようとしてバランスを崩し、転倒して床で腰部と後頭部を打撲した。	53	100 ～ 299
7	10~11	病室にて患者が興奮していたため、患者を落ちつかせようと椅子に座らせた。しゃがんだ状態でセラピストと一緒に両手と左足を押さえていたとき、患者の左足が左膝を蹴ったため床に倒れ、起き上がった際に再度同じ部位を蹴られた。	33	300 ～ 499
9	18~19	病室内の患者が食事を摂るために、ベッド頭部を起こしていたが、足元の方へ身体が下がっていたので、一度ベッドを下げ、両脇・肩甲部に左手、臀部に右手を深く差し込み固定し、頭部へ患者を抱え上げながら中腰で左方向に体を捻った際に、腰部に激的な痛みが走った。患者は臥床状態認知症あり、体重約40kgであった。	49	100 ～ 299
10	15~16	職場の4階の部屋でインフルエンザ予防接種を受けた時、身体が不安定な状態で受けた処置によって、当注射の何らかの影響で右腕に神経症状が現れた。	32	500 ～

				999
10	9～ 10	3F包括ケア病棟の患者のオムツ交換の際、ベッド左側に立ち右足を1歩前を出して体位変換を支えた（患者の背中を押した）。急に後ろから誰かにふくらはぎを蹴られたような痛みが左下腿にあり歩行できなくなった。外的要因はなし。	51	100 ～ 299

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html